

岐阜県および川辺町と 「企業との協働による森林づくり協定」を締結 ～様々な活動を通して生物多様性を保全～

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町 代表取締役社長：二之夕 裕美）は、岐阜県および川辺町と、「企業との協働による森林づくり協定」を締結しました。

当社は、生物多様性の損失を止めて回復させ、私たちの暮らしや社会経済を持続可能としていく「ネイチャーポジティブ」※1や、COP15で採択された「30by30目標」※2の実現に向けて、各地域において生物多様性活動を推進してまいりました。今回さらに活動を拡大すべく、協定締結にいたりました。

また、木曽川の上流にあたる飛騨川が流れる川辺町の森林を保全することで、当社本社で使用する水の水源である木曽川の保全・整備に貢献します。

企業との協働による森林づくりとは、山地災害防止、地球温暖化防止などの多面的機能の維持と向上を図るとともに、森林を適正に維持管理していくことの重要性を社会に広く浸透、認知させていくことを目的としています。

【具体的な活動内容】

- (1) 森林整備活動（下刈り、除伐、間伐等）
- (2) 森林を利用した地域との交流活動

当社は今後、地元の森林組合やボランティア団体と協働し、森林整備を進めていきます。本活動を通じて、自然と共生する持続可能な社会の実現に貢献できるよう、これからも積極的に取り組みを進めています。

※1 「ネイチャーポジティブ」…生物多様性の負（損失）の流れを止めて正（回復）に反転させること。

※2 「30by30目標」…2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする国際目標。

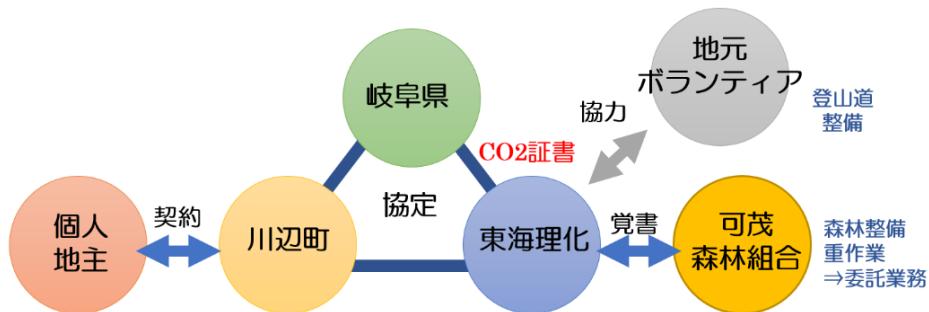
■協定の概要

所在地：加茂郡川辺町西柄井地内

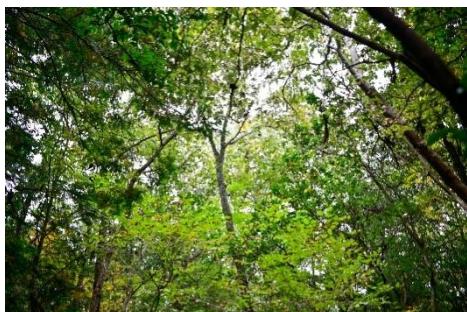
協定面積：約12ヘクタール

協定期間：令和8年2月4日～令和13年3月31日（5年間）

■協定体制



■森林づくりを行っていく川辺町（鬼飛山）の森林風景



【本件に関するお問い合わせ先】株式会社東海理化 総務部広報室（0587-95-5211）